

平成29年度 自己改革の取り組み成果と 組合員アンケート結果

この度、実施いたしました「組合員アンケート」にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。アンケート結果についてご報告させていただくとともに、今後の事業運営に反映し、自己改革の実践につなげてまいります。

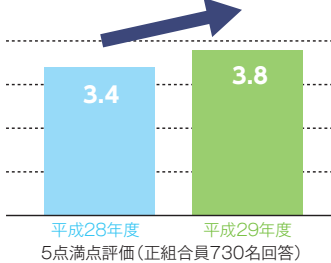
調査概要

- 調査対象 正組合員730名(認定農業者・農業法人、集落営農組織、部会の代表者・総代)・准組合員270名 合計1,000名
- 調査目的 第7次中期経営計画2年目(平成29年度)に対する組合員の満足度を把握し、自己改革の実践につなげるため。
- 調査方法 役員などが組合員宅を訪問し、アンケート調査を実施。
- 調査期間 平成30年2月～3月

I 農業者の所得増大の実現

実施項目 マーケットインにもとづく生産・販売事業方式への転換

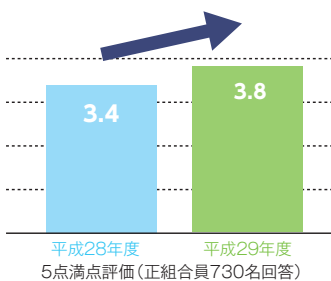
※数値は平成29年度実績。()は平成29年度計画。



取り組み内容	取り組み成果
●飼料用米の生産拡大	作付面積 1,550 [㊦] (計画1,220 [㊦])
●青果物取扱高の拡大	販売高 37.4億円(計画41.0億円)
●加工・業務用野菜の生産拡大	作付面積 キャベツ30 [㊦] (計画30 [㊦])、 タマネギ6.7 [㊦] (計画8.0 [㊦])
●ファーマーズマーケットの販売力強化	直売販売高 5億円(計画6億円)
●主食用米の生産拡大	新品種の作付面積 17 [㊦] (計画10 [㊦])

実施項目 付加価値の増大と新たな需要開拓への挑戦

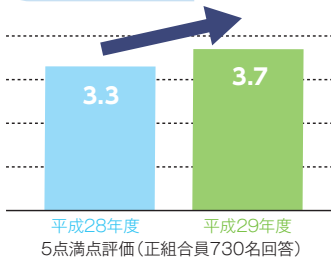
※数値は平成29年度実績。()は平成29年度計画。



取り組み内容	取り組み成果
●多様なニーズに対応した販売拡大	直販取扱高(消費者) 5.3億円(計画5.0億円) 直販取扱高(卸売業者) 5.7億円(計画5.0億円)
●米の品質向上	主食用米食味値 83(計画80)
●6次産業化による付加価値増大	オリジナルバウムクーヘン、 柿寒天ゼリー、柿酢「ハリヨの柿酢」 ドレッシングなどをファーマーズマーケットで販売
●畜産の生産販売維持・拡大	畜産物取扱高 17億円(計画12億円)

実施項目 生産資材価格の引き下げと低コスト生産技術の確立・普及

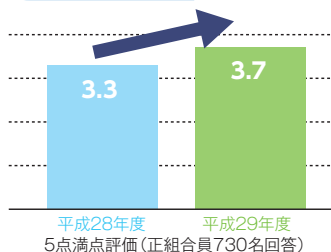
※数値は平成29年度実績。()は平成29年度計画。



取り組み内容	取り組み成果
●肥料・農業大口奨励金の支払によるコスト削減	還元額 4,200万円(計画4,300万円)
●担い手への農地集積・集約	農地集積率 59.9%(計画58.0%)
●低コスト生産技術の確立・普及	水稻直藩面積 268 [㊦] (計画150 [㊦])
●農産物販売コストの低減	同一品目協議会設立による低減効果 3品目(計画3品目)

実施項目 担い手経営体のニーズに応える個別対応

※数値は平成29年度実績。()は平成29年度計画。

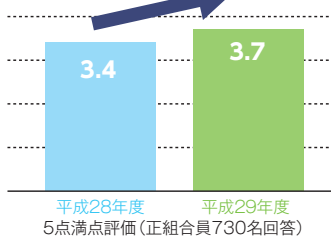


取り組み内容	取り組み成果
●出向く営農体制の整備・拡大	担い手への訪問 265件(計画1担い手1提案以上)
●農業経営管理支援の強化	経営分析 36経営体(計画30経営体)

実施項目

新たな担い手の育成や担い手のレベルアップ対策

※数値は平成29年度実績。()は平成29年度計画。



5点満点評価 (正組合員730名回答)

取り組み内容

- 新規就農者・農業後継者に対する支援
- 集落営農の法人化・担い手経営体の再編

取り組み成果

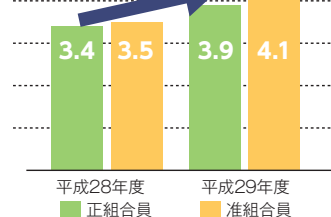
支援人数 5人(計画5人)
法人化 6集団(計画5集団)

Ⅱ 総合性の発揮による地域の活性化

実施項目

JA活動を通じた地域コミュニティの活性化

※数値は平成29年度実績。()は平成29年度計画。



5点満点評価 (正組合員730名、准組合員270名回答)

取り組み内容

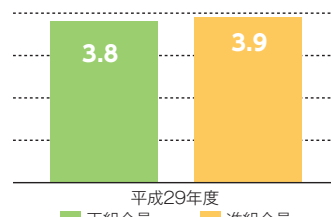
- 支店協同活動の実践
- JA食農教育活動の実践
- JA高齢者福祉活動の理解促進
- 「地産地消」女性部活動の展開
- 地域とのつながり強化と仲間づくり

取り組み成果

92回開催(計画 全支店・全グループで開催)
参加延べ人数4,747人(計画3,197人)
学習会の開催 9回(計画3回)
活動回数 53回(計画15回)
活動回数 155回(計画123回)

実施項目

積極的な参画による地域社会づくりへの貢献



5点満点評価 (正組合員730名、准組合員270名回答)
※平成29年度よりアンケート項目に追加しました。

取り組み内容

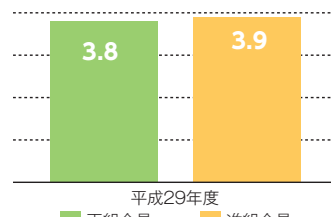
- あんしん見守りネットワーク
- 鳥獣害対策の強化

取り組み成果

「養老町徘徊高齢者等SOSネットワーク事業」へ養老管内6支店の協力サポーター登録の申請を行い、9月29日に登録完了しました。これに伴い、既に締結している他の市町との協定内容等を整理しました。
鳥獣害防護対策や防護柵設置の計画に基づき営農(経済)センターを通じて関ヶ原地区と上多度地区で自治会等と連携し、防護柵の設置支援を行いました。

実施項目

組合員の意思反映



5点満点評価 (正組合員730名、准組合員270名回答)
※平成29年度よりアンケート項目に追加しました。

取り組み内容

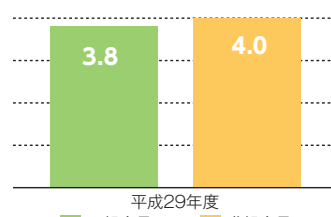
- 組合員代表者会議の開催
- 集落座談会の開催
- 准組合員の「農業振興の応援団」の取り組み

取り組み成果

総代、改良組合、作物部会の代表者の方など約1,400名のご出席を賜り、様々なご意見をいただきました。
735集落で開催し、全集落の約83%の開催率となりました。
准組合員の住宅ローン契約者の方に西美濃産「特別栽培米ハツシモれんげのかおり」を進呈しました。また、JAが行う食農教育活動への参加を募りました。

実施項目

食・農・協同組合にかかる広報展開



5点満点評価 (正組合員730名、准組合員270名回答)
※平成29年度よりアンケート項目に追加しました。

取り組み内容

- ハブリシティの活用
- 広報活動を通じた食と農の理解促進

取り組み成果

行政や関係機関と連携し、プレスリリースを行った結果、23回(19項目)の記事掲載に繋がりました。また、新聞以外にも3項目についてテレビで取り上げられ地域に「食」や「農」に関する情報をお伝えすることができました。
広報誌、ホームページのリニューアルをはじめ、新たな情報発信方法の一つとしてTVを活用し、JAにしみのオリジナルCMを作成するなど、食と農の情報を積極的に発信しました。